

Q

A

河川空間の単調化が問題となっており、ネコギギの棲む「間隙」は、どの様にしてつくられるのでしょうか？

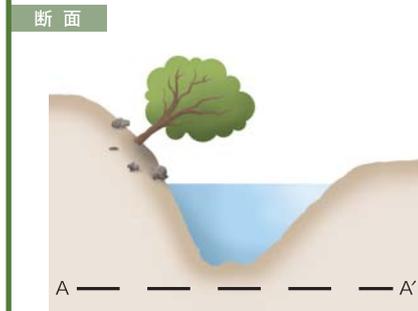
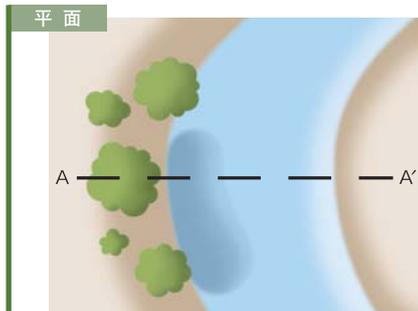


河岸から巨礫が崩落することによって、「間隙」がつくられています。



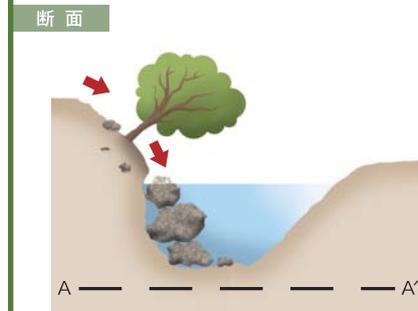
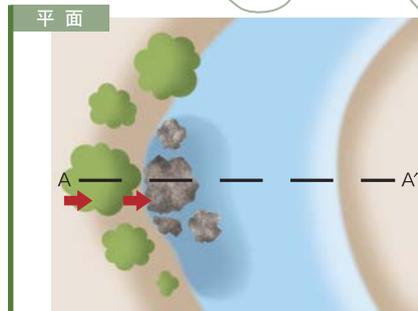
ネコギギ生息場の形成過程

河川の蛇行部



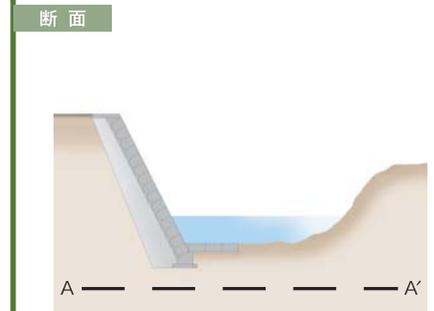
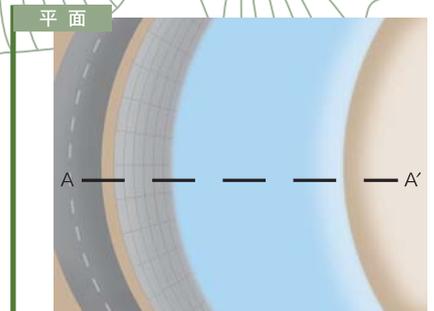
- 淵の形成
- 淵の水深は大きい
- 淵の流速は小さい
- 水辺林が水面を覆い、暗い空間を形成する
- 様々な魚の生息が可能である

河岸から供給される巨礫



- 河岸の浸食や崩落によって、礫が供給される
- 崩落した小さな礫は流される
- 巨礫は出水でも流されない
- 細流土砂は出水で流され、間隙を埋めない
- 巨礫の下は暗い空間を形成する
- 間隙を利用する生物の生息場になる

河川の改修



- 淵の消失
- 水深と流速の変化に乏しい
- 水辺林が消失し、暗い空間が失われる
- 河岸の浸食や崩落がなくなり、礫の供給もなくなる
- 間隙を利用する生物の生息場の消失